

2025 年 9 月吉日

ASCoT 茶論（常設公開講座）への出席ご案内

NPO法人コンクリート技術支援機構（ASCoT）では、さらなる人材育成と技術の革新を推し進めるため、多くの方々と双方向での技術交流ができる場として「ASCoT 茶論」を開設しております。

さて、今回の茶論は、ASCoT 理事ならびに金城学院大学教授の朴 相俊氏による、太陽光パネルガラスの高度利用に関する研究をご紹介します。

太陽光発電設備の導入は、固定価格買い取り制度（FIT）が開始した 2012 年から急速に拡大しました。しかし、太陽光パネルの寿命は 25～30 年とされ、30 年代後半には、太陽光発電設備から太陽光パネルを含む廃棄物が大量に出ることが予想されています。

その際、放置・不法投棄、有害物質の流出・拡散、最終処分場のひっ迫などの廃棄物問題を避けて通ることはできません。このような喫緊の課題に対する画期的な研究の紹介ですので、ぜひ、ご参加下さい。

特定非営利活動法人・コンクリート技術支援機構 (ASCoT)

理事長 畑中 重光（三重大学 名誉教授）

担当理事 朴 相俊（金城学院大学 教授）

第 58 回 開催要項

論者： 金城学院大学 教授 朴 相俊

演題： 「太陽光パネルガラスの高度利用についての研究紹介」

概要：

国内の太陽光発電施設の設置は、固定価格買取制度（FIT）が始まった 2012 年以降に急増してきました。今後、FIT の順次終了や太陽電池モジュールの寿命により、2030 年代後半には太陽光パネルが大量に排出されることが想定されます。また、太陽光パネルの重量の 6～7 割を占める廃ガラスの利用方法に関してまでは定められていません。

これに対し、太陽光パネル由来の廃ガラスをコンクリート材料として使用する場合、ガラスの 9 割以上は同じ主成分の種類であり、ほかの廃ガラスより品質が安定しているため、強度発現性状のメカニズムを示すことが可能と考えています。そのため、研究ではコンクリート材料としての高度利用に着目し、定量的な解明を行っています。茶論では研究の背景と目的、さらに研究の概要について紹介します。

日時： 2025 年 10 月 9 日（木）15:30～16:30（話題提供～意見交換）

開催方法： Zoom による Web 開催

参加費： 無料

定員： 25 名

第58回 ASCoT 茶論 参加申込書

2025年 月 日

ご氏名		
ご所属		
連絡先	電話	
	F A X	
	メールアドレス	
ASCoT 会員の有無	会員	会員外

1. お申込み先

ASCoT 事務所 担当：藤岡
〒464-0003 名古屋市千種区新西 2-3-6
TEL：052-979-2107

2. お申込み方法

以下のEメールまたはF A Xでお願いいたします。
メール：t.fujioka@renotec.co.jp
FAX：052-937-6553

3. お申込み期限

10月 6日（月）

4. お申込み後のご案内について

お申込者には、開催日までに、招待メール（Zoom ミーティングのURL、ミーティングID及びパスコード）を、申込書に記載のメールアドレス宛に送らせていただきます。
また、参加に際しまして、録画は禁止とさせていただきますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

※ 個人情報保護法の施行により、参加申込書で得た個人情報は、茶論運営のために必要な連絡や名簿等の作成以外に使用することはありません。

以上